



国際社会貢献センター ABIC Information Letter

No.2 2000年11月

東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル6階
(社)日本貿易会内 ☎105-6106 Tel:03-3435-5973

新しい風を受けての活動

ABICの具体的取り組みの中で、日本社会にもさまざまな新しい動きが出ていることが分かり、その点にこそわれわれの活動の意味が実感されるのですが、こうした事例を中心にご報告することとします。

① JICAのシニア海外ボランティア

顔の見えるODAの代表的事業として、日本政府もシニア海外ボランティアの派遣人数を大幅に増やしつつあることは、前号でもご報告した通りです。

10月初旬に発表されましたJICAのシニア海外ボランティア秋の募集（春秋年2回の募集）は、募集人數は増加していますが、内容的には従来からの農水産、鉱工業、医療、行政といった分野が殆どを占め、我々が期待するような広く産業を振興する、中小企業支援、地域経済振興、貿易拡大、投資誘致といったソフトな分野での案件は広がっておらず、そうした分野でのグループ派遣を求める要請は未だ来ていない状況です。当センターとしては、引き続き関係先への働きかけを続けています。

また、グループ派遣の前提になる機関登録の要項は10月末発表されたので、早速登録を済ませました。

こうした中で、9月に就任されたJICAの斎藤総裁（元駐米大使）に、日本貿易会の常任理事会（宮原会長主催）で、「日本の経済協力におけるJICAの今後の役割」と題し講演頂きました。総裁は、顔の見えるODAの一層の推進を図る旨表明されるとともに、その中で、シニア海外ボランティア



清水副会長

宮原会長

古川副会長代理

にも大きく期待しており、この点では国際社会貢献センターと緊密な連携をしていきたいとの御発言がありました。当センターとしても同総裁を訪問し直接説明を申し上げた他、外務省の主催でJICA・国際社会貢献センター三者の打ち合わせを行って頂くなど日本の経済協力に貢献する方策を積極的に探っているところです。

② 国際研究交流大学村

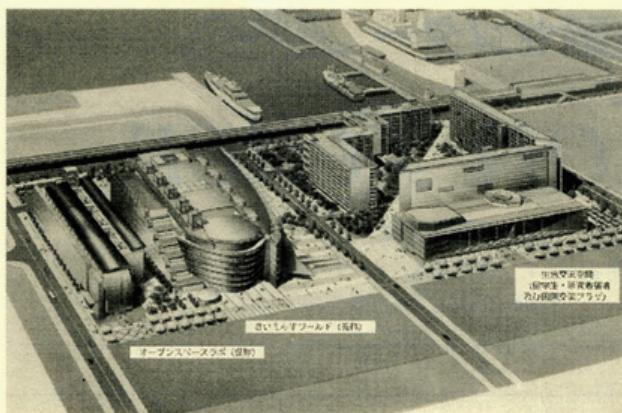
（千野・山田コーディネーター）

新橋から「ゆりかもめ」に乗って十数分、「船の科学館」駅のすぐ南に「国際大学村」の建設地があります。

来春ここに、801室を擁する日本最大の留学生・研究生宿舎が完成します。文部省関連団体の日本国際教育協会が運営する、アジアなどからの大学院生以上の留学生を主に、単身者以外も夫婦棟、家族棟も整備して受け入れるもので、留学生は来年夏頃か



斎藤総裁



国際大学村

ら半年程かけて入居する予定です。

現在、留学生宿舎は、周辺住民などがボランティアを組織して交流をしています。ここ臨海副都心には近くに住民が居らず、既存のコミュニティーはありませんし、規模も桁外れです。同協会から依頼されてABICとして、組織的に支援・交流の活動を行なうべく、打ち合わせを行っています。今後、日本語教室、生活相談、文化・スポーツ活動、社会見学、ホームステイ等を企画・準備して行く予定です。

③ 早稲田大学オープンカレッジ

(増田コーディネーター)

早稲田大学が開かれた大学をめざし設立した「早稲田エクステンションセンター」の主催するオープンカレッジが、一層の講座拡大を図って、八丁堀の「中央区テクノセンター」の教室を借り、ビジネスマン・ウーマンを主な対象とする夜間授業を開設する

ことになりました。

ABICでは、貿易会が1年間の研究活動の成果として、この7月に出版した『アジアと共に歩む21世紀』を教材に、現役とOB登録者合わせ8名で、下記の講座を持つことになりました。

④ 神戸大学経済学部 (宇佐見コーディネーター)

同学部で教鞭を執っておられる元丸紅の久保教授の御紹介で、来年度前期14回にわたる特別講座を担当することになりました。商社の活動を地域と分野・商品を組み合わせながら、ビジネス現場からのメッセージを学生に伝えようというものです。

テーマ；ビジネス現場からのメッセージ

— 総合商社の活動を紹介 —

- 第1回 総合商社の機能と歴史
- 第2回 総合商社のビジョンを語る
(地域編…現地のビジネス体験から)
- 第3回 インドネシア
- 第4回 インド
- 第5回 中東
- 第6回 アフリカ
- 第7回 東ヨーロッパ
- 第8回 南アメリカ
(機能・商品編…オーガナイズの醍醐味)
- 第9回 海外建設工事の受注とクレーム
- 第10回 プラント貿易
- 第11回 食品開発事業
- 第12回 アパレル生産拠点の展開
- 第13回 IT革命と商社の未来
- 第14回 期末テスト

早稲田大学オープンカレッジ総合講座 講座名：アジアと共に歩む21世紀（仮題）

第1回 目覚めたアジア —20世紀のまとめ—	今村 卓	丸紅(株) 丸紅経済研究所 経済調査チーム主任研究員
第2回 日本にアジアは欠かせない		
第3回 韓国経済の現状と朝鮮半島情勢	藤田 徹	住友商事(株) 市場業務部次長
第4回 インドネシア —その多様性と未来—	森 和重	元 三井物産(株) インドネシア代表 ジャカルタ支店長
第5回 ベトナム —東洋の商人はいつ目覚める?—	鈴木 信義	元 丸紅(株) ハノイ出張所所長
第6回 タイ —大きく変化している国、その要因—	吉川 和夫	元 (株)トーメン タイ・トーメン社社長
第7回 インド —日本にとっての知られざる大国—	岸川 榮一	元 ニチメン(株) インド支配人
第8回 フィリピン —イメージとは乖離する明るい実態—	木村 秀志	元 住友商事(株) マニラ支店長
第9回 新世紀におけるアジアの課題	増渕 文規	三菱商事(株) 職能グループCEO補佐 兼国際経済センター所長
第10回 日本とアジアの未来に向けて		

⑤ ベンチャービジネス講座

Yahoo!で、「国際社会貢献」と検索すると貿易会のホームページが出てきます。このホームページで当センターの存在を知った、各種専門学校を全国展開する都築総合学園から、学生の新たなニーズに応えるため、来春よりベンチャービジネス学科とe-ビジネス学科を新設するので、講師を紹介して欲しいとの依頼がありました。登録者で講師経験や中小企業診断等の経験のある方に案内し、関心のある方数名が具体的に講義可能な科目につき打ち合わせ中です。

⑥ 海外駐在等

当センターが推薦した方で、10月に入り、海外へ行かれる方が初めて出ましたのでご紹介します。

高橋洋さん（元伊藤忠商事）

ハンガリー投資貿易促進公社の投資顧問に、JICAの専門家として2年間の予定。(10月9日出発)



神谷誠一さん（元住友商事）

中国の深圳にある深圳テクノセンターで、中小企業の進出をサポート。神谷さんは65才ですが、特に帰国年限は定めず何年でも出来る限りやってみたいとのこと。(10月20日出発)



田中昭彦さん（元三井物産）

東チモールで人道援助を展開する日本のNGOが企画している、フェアトレードによるコーヒーの輸入に対し、アドバイザーとして契約し、この程初めて現地に。(10月中旬から10日間)



安福哲一さん（元住友商事）

日本の地方の食品関係会社が企画するフランスとの提携と製品の輸入の案件に顧問として契約し、パートナー探しと条件の初調査。(10月末から2週間フランスに)



その他の方も含め活動に現在まで参加頂いた方は右表の通りです。

対象組織等	業務内容	氏名	出身企業
通産省・JICA	ハンガリー、投資顧問	高橋 洋	伊藤忠
JETRO和歌山	アドバイザー	郷間 満男	貿易会
信濃ワイン	フランスとの提携、顧問	安福 哲一	住友商事
国際社会貢献センター	シニアコディネーター	宇佐見和彦	丸 紅
埼玉県国際交流協会	セミナー講師（スポット）	佐藤 徹	伊藤忠
高齢者雇用開発協会懇談会	主査 副主査	佐藤 勝彦 和田 稔	三菱商事 兼 松
通産省・JICA	パキスタン、投資顧問	玉木 興晶	トーメン
早稲田E-センター	プロジェクトコーディネーター	増田 政靖	三菱商事
ピースウインズ(NGO)	東チモールコーヒー、アドバイザー	田中 昭彦	三井物産
深圳テクノセンター	中小企業中国進出支援、現地管理	神谷 誠一	住友商事
国際大学村	プロジェクトコーディネーター	千野 滋樹 山田 雅司	丸 紅 伊藤忠
早稲田大学E.C.	講師	森 和重 鈴木 信義 吉川 和夫 岸川 栄一 木村 秀志	三井物産 丸 紅 トーメン ニチメン 住友商事
勤労者ボランティアセンター	原稿執筆（スポット）	原 透湧	住友商事
JAIDO	中国案件発掘アドバイザー	戸谷 裕	三菱商事
日本予防外交センター	カンボジア駐在	田中 剛	伊藤忠
三菱マーケティング研究会	研究会講師（スポット）	前田 耕史	三菱商事
八千代エンジニアリング	ベネゼラ開発調査（未定）	根岸 史修 山本 誠二	丸 紅 日商岩井
国際大学村	入居マニュアル作成	大塚 寛子	(三井物産)
神戸大学経済学部	講師	林川 真善 井口 義弘 布施 克彦 友田 富也	三菱商事 伊藤忠 三井商事 丸 紅
神奈川県産業貿易振興協会	セミナー講師（スポット） パネラー（スポット）	黒川 智水 梨本 進	ニチメン 日商岩井

なお、この間、当センターの活動としまして、登録記載事項から判断して関係のあると思われた登録者の方に、下記の情報ご連絡、希望者募集のご案内を行いました。

1. 第4ジャンル活動希望者へのアンケート
2. 都築総合学園・講師の案内
3. ジャパン・プラットフォーム事務局長の案内
4. 米州開発銀行・ジャパンプログラム・提案募集
5. 日本予防外交センター・カンボジア派遣募集
6. 国際草の根交流センター・スタッフ募集
7. インドネシア派遣投資アドバイザー募集

8. JICAシニア海外ボランティア・ラオス・コーディネーター資料
9. 早稲田エクステンションセンター・講師募集
10. 神戸大学経済学部講座・講師募集

NGO、NPO関係情報

日本経済新聞夕刊の3面か5面に、9月4日から始まって月曜から金曜まで、「NGO駆ける」と題する連続特集が掲載されています。11月に入っても続いています。また、11月10日に閣議提出された国民生活白書でも今後のNPOの活動への期待が中心的位置を占めています。国連では2001年を「ボランティア国際年」と定め、国際的に多彩な活動が行われる予定です。日本でのNPO、NGO活動の情報連絡組織、相談組織としては下記の4団体が代表的です。一応資料等も整っています。Ⓐ、Ⓑの政府関係団体でも資料が得られます。ご関心のある方は、一度各組織のホームページを見られるようお勧めします。(Yahoo!なりで組織名で検索すればアクセスできます。)また、国連・世銀・WTO・OECD等のホームページで「NGO」を検索すると国際的なNGOの活動に関連して多様な資料が見られますのでご参照下さい。

- ① 日本NPOセンター
東京都渋谷区恵比寿西2-11-11-104
- ② シーズ=市民活動を支える制度をつくる会
東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン710
- ③ NPO事業サポートセンター
;介護NPO等へのサポート
東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館1F
- ④ NGO市民活動情報センター
(旧NGO活動推進センター)
NGO関連の資料、ニュースレター、「NGOダイレクトリー」などの出版
東京都千代田区神田錦町2-9-1 斎藤ビル2F
- Ⓐ 市民国際協力プラザ
(自治省の財自治体国際化協会が所管)
パンフレット、ニュースレター、NGO関連ダイレクトリ、等
東京都千代田区霞ヶ関3-3-2 新霞ヶ関ビル一階
- Ⓑ 財団法人 国際協力推進協会 (APIC)
(外務省所管) ODA関係資料
東京都港区南麻布5-2-32 第32興和ビル1F

事務局スタッフ紹介

- 池上 久雄代表；日本貿易会常務理事として広く当センターをPR。
宮内 雄史事務局長；毎日あちこち飛び回っています。
宇佐見 和彦シニアコーディネーター；前日本貿易会常務理事。非常勤のマネジメントでの有力助っ人。
宇崎 雅雄コーディネーター；丸紅から事務局強化のため参画。
横溝 博一職員；事務局長の下で緻密な仕事を。
石井 明美職員；事務の仕事はすべて任せて。



左から池上、石井、宮内、横溝、前列左から宇崎、宇佐見

○11月13日現在の登録者 844人

○アンケートを同封致しますので、ご回答下さい。